



## 北アフリカ地域ニュース

### モロッコ：西サハラ問題と米国の立場

(6月20日付マグレブ・アラブ通信他)

20日、現地報道各紙は、政府筋によるとして、モハメッド6世国王が、西サハラ問題に関してブッシュ米国大統領発の書簡を受領したと報じている。概要以下のとおり。

1. ブッシュ大統領は、アメリカ合衆国の明確な立場として、「モロッコ主権下の実質的な自治は、西サハラ問題における対立に関する唯一実現可能な解決策であり、サハラにおける独立国は現実的選択肢ではない」と確認した。
2. 本件対立の終結に向けたモハメッド6世国王の決意とリーダーシップに謝意を表明し、モロッコが提出した自治権提案が信頼でき真摯なものであることを協調。
3. 米国として、国連による現実主義と妥協の精神による実質的な交渉の実施の呼びかけに則り、当事者間において実施中の交渉プロセスをより深く掘り下げた形で行うことについて希望を表明した。